

サトコジファイル Satokoji File

福生市議会議員
佐藤こうじ
議員活動レポート



福生「生きがい都市」宣言！



ダンボール等
不法の投棄

福生駅東口飲食店街の ゴミ不法投棄に迅速に 対応しました

ゴミの不法投棄は違法行為です。安心安全、環境保全、多文化共生、商業振興に関わる重要な問題として警察と行政と地元飲食業組合と連携して迅速に対応しました。ゴミの不法投棄の連絡を受け、大量に投棄されていた段ボールを撤去。その後、市役所のごみ対策係と相談し不法投棄禁止の表示を張り、後日、社交飲食業組合の板橋組合長と福生警察へ行き捜査を依頼。事件扱いとして捜査を進めカメラを設置することに決めました。福生警察署長とも今回の件も含め、地域防犯について意見交換をさせていただきました。福生駅東口飲食店街の安心安全に向けより積極的に取り組んでいくとの力強いお言葉をいただきました。数日後、警察により防犯カメラが設置されました。同時に市により、不法投棄されていたゴミはきれいに撤去され、清潔な状況が継続しています。今後も地元飲食業組合や地域の方々と共に地域の清潔で安心安全なまちづくりに取り組みます。



詳しくはnoteに
掲載しています



令和5年3月議会での一般質問

1 公共施設の再配置等における市民との情報共有・意見聴取等について

(1)「福生のハコモノを考えよう」地域懇談会について

質問 公共施設の再配置等については、福生駅西口地区再開発における公共公益施設の設置を中心に、市民の合意を得ながら計画を進めていただくよう、様々な角度から質問してきました。先ごろ行われた「福生のハコモノを考えよう」地域懇談会に地元高校生が参加するという、今までにない形で行われましたので、当日の様子等について質問しました。

答弁 令和5年2月4日に、もくせい会館にて開催した。グループごとに、家族構成等を設定し、将来の暮らしを想像、その暮らしに紐づくのはどのような公共施設なのかを話し合い、発表。これまでは、若い世代の参加者が少ないことが課題だったが、福生高校と多摩工業高校にご協力をいただき、生徒10名が参加した。引率した先生からは、年齢が上の地域の方に対して発表をしたり、対話することは生徒にとって貴重な機会であり、またぜひお声がけをいただきたいとの感想をいただいた。

【福生駅西口地区公共公益施設の設置について】

整備に至る経過や手続き等について、透明性の確保と市民への適切な説明をしつつ進めてほしいと要望しています。



「福生のハコモノを考えよう」地域懇談会の様子

Satokoji Point

「人口減少」を踏まえ公共施設に関する計画を進めると、どの施設機能を残すのか「選択」したり「縮小」したりする局面が必ず来ます。計画で示される数値目標をクリアするだけでなく、時代やニーズに即しながら機能を「選択」「縮小」することが必要であると考えます。将来を担う、若い世代も含めた市民と情報共有・意見聴取のチャンネルを持ち続け、必要に応じてより多く設けるよう要望しました。

2 障害児及び特性のある子どもへの支援について

質問 令和4年3月の一般質問で、「児童発達支援センターの設置」に向けて動いているとの回答をいただきました。①その後の検討と設置に向けた準備について質問しました。②4月1日から施行される「こども基本法」では、「こども大綱」に基づく「子ども計画」を定める努力義務について規定されています。障害のある子ども及び特性のある子どもへの支援については、家庭と福祉、教育がより一層の連携を推進するための方策を、市の「子ども計画」に盛り込んでいく必要があると考え、どのような構想をもっているか質問しました。

答弁 令和5年度末までに児童発達支援センターを1カ所以上確保する。①昨年夏には運営形態の異なる4カ所の児童発達支援センターを関係部署8課の職員で視察。各部署の関係する事業の確認や運営方法等について検討を進めており、現時点では福祉センターの活用を軸に、進めていくことが、最善と考えている。②国においても、保育所等や学校などにおけるインクルーシブな対応を行なっていくという方向性が顕著になっている。「こども計画」に障害児に対する支援について盛り込むことは必須である。令和5年度以降、有識者や市民の代表等から構成される福生市子ども・子育て審議会で十分にご審議をいただきながら、具体的な方策を盛り込んでいくことになるとのことでした。



児童発達支援センターの設置が検討されている福生市福祉センター

Satokoji Point

家庭と福祉、教育がより一層連携し、一つとなってインクルーシブを進めるために、ユニバーサルデザインの保育・教育を「子ども計画」に構想として盛り込んでいくことを提案しました。さらに、トータルな存在として子供を育むための最良の組織はどうあるべきか、以前から訴えている「福祉と教育」の両方を所管できる部局の設置について今一度熟議していただくことを要望しました。

令和5年度 予算審査特別委員会 令和5年度一般会計予算は過去最高の272億8000万円の編成となり賛成多数で可決されました。

歳入歳出予算全体 ●光熱水費の高騰に対する対応について	企画 財政部 4事業 ●企画調整事務(企画調整課) ●企画政策事務(企画調整課) ●総合計画策定事務(企画調整課) ●福生駅西口再開発事業(公共施設マネジメント課)	総務部 4事業 ●弁護士事務(総務課) ●人事事務(職員課) ●車両管理事務(防災危機管理課) ●災害対策事業(防災危機管理課)
議会事務局 2事業 ●運営事務(議会事務局) ●活動支援事業(議会事務局)	市民部 5事業 ●証明書等コンビニ交付事務(総合窓口課) ●住民基本台帳事務(総合窓口課) ●個人番号事務(総合窓口課) ●印鑑登録事務(総合窓口課) ●市民卦役保養施設事務(総合窓口課)	都市建設部 4事業 ●都市計画事業(まちづくり計画課) ●都市景観事業(まちづくり計画課) ●市道幹線2-11号線(本町通り)無電柱化整備事業(道路下水道課) ●福生第二号踏切改良事業(道路下水道課)
子ども家庭部 3事業 ●こども子育て審議会事務(子ども政策課) ●育成医療費助成事業(子ども育成課) ●入院助産施設入所事業(子ども家庭支援課)		

詳しくはブログ「note」をご覧ください➡

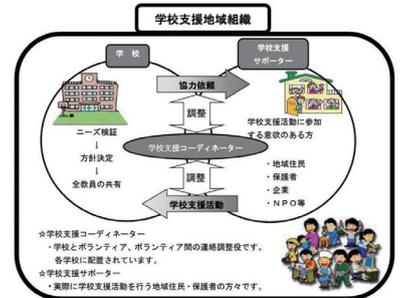


3 学校と地域の連携について

質問 令和5年度教育委員会は組織改正し、学校と地域の連携を進めるとのことです。生涯学習推進課で所管してきた「学校支援地域組織※1」と教育指導課で所管してきたコミュニティ・スクール委員会に関する事務についてどのように整理し事業を進めていくのが質問しました。

答弁 「コミュニティ・スクール委員会」と「学校支援地域組織の活動」については、所管している課が異なっているが一部重複している状況もあり、両組織の役割等を整理する必要があると考えている。そのため、令和5年度からは「学校と地域の連携に関すること」を事務分掌とする生涯学習推進課が、その両事業を所管し、一体的な推進を目指すとともに、学校と地域が協働して行う取組みの一層の充実を図る。

※1) 地域の方々や保護者によるボランティアの協力を得ながら、学校運営や教育活動を支援する仕組み。福生市では全小・中学校に配置された「学校支援コーディネーター」が、学校のニーズと地域のボランティア（学校支援サポーター）との連絡調整をしてつなぎ、より効果的な学校支援活動を行っている。



学校支援地域組織のイメージ

Satokoji Point

コミュニティ・スクール委員会には、学校の基本方針の承認や学校運営への意見具申などの制度本来の役割があります。この点は、教育指導課の役割が大きいと考えます。生涯学習推進課は、「2つの役割」の整理等に関しては、関係者に対して丁寧に進めたい。生涯学習の成果を地域に還元することの重要性を訴えてきましたが、学校教育にも生かしていくことが重要です。生涯学習推進課の努力と教育指導課の経験を活かし、両輪で事業の充実を進めることの重要性を訴えました。

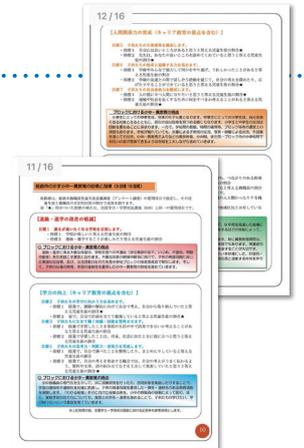
4 キャリア教育について

質問 昨年、総務文教委員会で小中一貫教育に関し視察した姫路市は、小中一貫教育の柱としてキャリア教育※2 に力を入れていました。①これまで、キャリア教育をどのようにとらえ、実践してきたのか、また②今後の展望について質問しました。

答弁 ①教育委員会は、各学校の「キャリア教育全体計画及び年間指導計画」の作成について指導・助言等してきた。各学校では、児童・生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育めるよう、学習内容と、将来の生活などを関連付けながら、自が見通しをもちたり、振り返りたりする機会を設けるなどして、授業改善を進めている。また、地元企業と連携し、中学生職場体験等、体験を通じた学びの充実を図っている。②令和5年度より、各学校の代表教員1名からなる担当者会を設置し、推進に向けた協議を進めていく。地域の特色を生かした各校独自の取組についての検討や、「キャリア・パスポート※3」の活用方法について協議することで、より一層充実するよう努めるとの事でした。

※2) 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

※3) 令和2年4月から、全ての小学校・中学校・高等学校等において導入が順次開始。学習活動等の振り返りの記録を、キャリア形成の視点から捉え直し、12年間の見直しをもって、より効果的に児童・生徒のキャリア形成を図っていくことを目的としている。



「姫路市の進める小中一貫教育」より抜粋

Satokoji Point

キャリア教育を福生市の小中一貫教育の柱にしたいと考えています。先生方には、職業体験のみならず、普段の授業もキャリア教育の観点からとらえ直し、基礎的・汎用的能力※4 の形成につながる「自分らしさを発見する授業」を行っていただきたいと要望しました。※4) 「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力によって構成される。

審査では33項目40事業にかかわる質問をいたしました。

福祉保健部 4事業

- 重層的支援体制整備事業（社会福祉課）
- 社会福祉協議会費（介護福祉課）
- 高齢者福祉事業（介護福祉課）●成人保健指導事業（健康課）

生活環境部 4事業

- 農業振興事業（シティ・セールス課）
- 消費者対策事業（シティ・セールス課）
- 町会活動支援事務（協働推進課）
- 多文化共生推進事務（協働推進課）

教育部 8事業

- 小学校校庭照明改良事業（教育総務課）
- 中学校校庭照明改良事業（教育総務課）
- コミュニティ・スクール運営事業（生涯学習推進課）
- 郷土資料室事業（生涯学習推進課）
- 松林会館管理事務（公民館）
- 車両管理事務（公民館）
- 車両管理事務（図書館）
- 電子図書館運営事業（図書館）

データで見る 市議会議員

「佐藤こうじ」の議会での発言数

1期目～現在まで **2,769回**

(2015.5.15～2023.1.30)

市議会議員の発言数は「福生市議会会議録検索システム」で調べることができます

兵庫県西脇市を行政視察

委員長を務める議会運営委員会で、兵庫県西脇市の議会改革の取り組みを視察（令和5年1月24・25日）しました。西脇市は議会改革で非常に高い評価を受けている先進市です。2018年の日経グローバル議会活カランキングは1位。早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度ランキングでは2019年は1位、2020年では3位。令和4年の第17回マニフェスト大賞でも、「今、議会の存在意義が問われる議会が住民のなかにあるために」「一議会DXを推進し、より開かれた議会へ」が「エリア選抜」となっています。

私なりに福生市議会の議会改革に取り組んできましたが、西脇市の取り組みを見て更なる改革の必要性を実感いたしました。議員の意識改革を進めるためにも、市民の皆さんに市議会への関心をより高めていただくよう努めていかなければならないと心新たに決意いたしました。

詳しくはブログ「note」にて➡



西脇市議会 林晴信議長と

西脇市が取り組んでいる議会改革の取り組み事例の一部

① 議会報告会（議会と語ろう会）の開催

市民との意見交換会が、町内会・自治会単位にワークショップ形式で開催。オンライン議会報告会も実施。

③ 課題懇談会（随時開催）

市民団体と常任委員会とテーマを決めて意見交換、市民団体からの申し込みが常任委員会からの申入れで随時開催される。

② オンライン予算広聴会

新年度事業について市民から意見を聴取し、予算審査時の参考とするために開催。

④ 高校生版議会報告会

平成29年度より実施、市内3高校が対象。主権者教育の部分をパワーポイントで説明し、地域課題をワークショップ形式で話し合うもので、授業の一環として実施されている。



佐藤こうじが掲げる 10の「生きがい」を生むまちづくり

Satokoji File NO.20 [B5版/20ページ]

デジタル版はコチラからダウンロード!

【紙面の配送をご希望の方】

佐藤こうじオフィシャルサイト「ご要望窓口」よりお問い合わせください。



全83項目



佐藤こうじプロフィール

誕生～学生時代

1968年 東京都日野市生まれ。
日野市立第二小学校、日野市立第一中学校、
東京都立南多摩高校、中央大学法学部卒
小学生時代：カブト虫・クワガタや魚獲りに明け暮れる
中学生時代：卓球部所属（市や地区大会で優勝！）
高校生時代：卓球部と体操部に所属、ロックバンド結成
大学生時代：法学、政治学を学び、政治学のゼミに所属

メディア
出演情報

FM たちかわ 『I.S.M.(イズム)生特番』

第2・4週 日曜日 16:00～18:00

番組内出演コーナー 16:00～16:25

福生市議会議員 佐藤弘治の

「市議会議員は毎日何をしているのか?」

地方議員の活動や考えを皆さんにお伝えします!



84.4
fm
エフエム
たちかわ
FM TACHIKAWA

ご視聴方法はコチラ➡



佐藤こうじ
オフィシャルサイト



<https://www.sato-koji.com/>

佐藤こうじ
Facebookページ



市議会議員は毎日何をしているのか

職歴～現在

2015年 保険会社、繊維業界紙新聞記者、予備校講師、家業の建築業（型枠工事/二級建築士）を経て、
福生市議会議員に初当選。議会運営委員会 委員、総務文教委員会 委員、議会改革に関する
特別委員会 副委員長、横田基地対策特別委員会 副委員長、西多摩衛生組合議会 議員

2019年 福生市議会議員に再選。総務文教委員会 委員長、議会運営委員会 委員、横田基地対策特別委員会
委員、議会改革に関する協議会 座長代行、福生病院組合議会 副議長、市議会会派 正和会 政調会長

2021年 議会運営委員会 委員長、総務文教委員会 委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 副委員長
瑞穂齋場組合議会 副議長、市議会正和会 総務会長

生年月日 1968年10月28日（さそり座） 血液型 O型

趣味特技 カラオケ、卓球、読書（社会科学系等の本をよく読みます。漫画も好きです!）

政治観 地方自治は民主主義の学校である（J.ブライス）

家族 福生生まれの妻（介護福祉士）、社会人の長男・次男、大学生の長女

座右の銘 処人譔然（しよじんあいぜん）「人と接するときには和やかな態度で接すること」

地域活動 保護司、（社）不動福祉会理事、福生社交飲食業組合相談役顧問、福生市柔道整復師会顧問

福生市防衛協会事務局長、福生市ゲートボール協会事務局長、多摩西部議員交友会会員

ふっさボランティア・市民活動センターFVAC運営委員、福生不動尊世話人、福生市本町町会顧問

市生会 理事、本町神輿保存会 世話人

福生 生きがい都市宣言!

佐藤こうじ後援会 事務局

TEL/FAX 042-849-2196

✉ koji.sato.office@gmail.com

〒197-0022 福生市本町79